

# 熊本の未来を語る—歴史まちづくりフォーラム



日時  
2020（令和2）年10月10日（土曜日） 1時半～5時

場所  
カーリーノ魚屋町ビル（旧住友銀行熊本支店社屋）

主催  
NPO 法人熊本まちなみトラスト／株式会社カーリーノ

後援  
—新校区自治協議会— 五福校区自治協議会— 川尻校区自治協議会

熊本市ではこの6月、歴史まちづくり法に基づく「歴史まちづくり計画」が策定されました。これは先の熊本地震により、多くの歴史的建築が存続の危機に瀕したのを契機に、熊本市が建築や他の歴史的遺産を保存活用しながら熊本のまちづくりを進めようとする計画です。私たちはこのフォーラムにより、この計画の内容を市民県民に広く知っていただき、市民と行政が協働して行なう未来の熊本のまちづくりの先駆けとしたいと思います。

## プログラム

13:30 開会（総合司会 竹田宏司 熊本まちなみトラスト副理事長）

挨拶 伊藤重剛（熊本まちなみトラスト理事長）／馬場英治（カーリーノ株式会社 代表取締役社長）

13:40 ミニコンサート（30分）

バイオリン独奏 アヴェ・マリア（バッハ＝グノー作曲）愛のあいさつ（エルガー作曲）等

演奏：吉永誠吾（バイオリニスト・熊本大学名誉教授） キーボード伴奏：鬼海奈々

14:10 10分休憩・会場設営

※講演者、パネリストのプロフィールは裏面にあります

14:20 講演「熊本市歴史まちづくり計画」 酒井伸二（熊本市都市整備景観課 都市デザイン室長）

14:40 パネリスト発話 10分＋質疑5分

ファシリテータ 鄭一止（ちよん・いるじ）熊本まちなみトラスト副理事長

「新町・古町の町屋再生と地震復興に携わって」 宮本茂史

「川尻の歴史的まちづくり」 吉村謙太郎

「祭礼とまちづくり」 竹原明理

「新しい若者の町—新町と古町」 早川祐三

15:40 ディスカッション

16:30 終了・片付け

新型コロナウイルス対策として、当日はマスク着用のうえ、定員50人を先着順で締め切らせていただき、結果はHPで配信することにいたします。お申込みは下記まで。



2019年5月18日シンポジウムの様子



## ミニコンサートの演奏者と曲目

吉永 誠吾（よしなが せいご バイオリニスト・熊本大学名誉教授）

東京芸術大学大学院音楽研究科修了。熊本大学教授として長年学生の指導をしてきたほか、熊本大学フィルハーモニックオーケストラの顧問として県内の小中学校での巡回演奏会などを活発に行なってきた。著書『音楽とコミュニケーション』とCD「癒しのためのヴァイオリン名曲集」がある。

- 曲目ー I バイオリン独奏：アヴェ・マリア（バッハ＝グノー作曲） 愛のあいさつ（エルガー作曲）
- II ビオラ独奏：組曲『動物の謝肉祭』から『白鳥』（サン＝サーンス作曲）
- III バイオリン独奏：メヌエット（ボッケリーニ作曲） 小舟にて（ドビッシー作曲）  
チゴイネルワイゼン（サラサーテ作曲）



## 講演者プロフィール

酒井 伸二（さかい しんじ 熊本市都市整備景観課 都市デザイン室長）

平成10年熊本市役所に入庁。土木建築部門の行政マンとして、熊本市の都市計画行政に携わってきた。これまで都市計画課や都市政策課などに勤務しながら、熊本駅周辺整備計画、光のマスタープラン、ウォークアブル都市の推進、まちなか再生プロジェクトなど、熊本の重要な都市計画事業を担当した。現在、都市デザイン室長として歴史まちづくり計画を担当。



## ファシリテータプロフィール

鄭 一止（ちよん いるじ 熊本県立大学 環境共生学部 准教授／熊本まちなみトラスト副理事長）

韓国・大邱生まれ。ソウル市立大学卒。東京大学大学院にて博士号取得。2012年より神奈川大学にて助手・助教を務め、2017年より現職。歴史的まちなみづくり、社会遺産を活かしたまちづくり、DIYまちづくりなどについて研究・実践中



## パネリストプロフィール

宮本 茂史（みやもと しげひと 宮本建設株式会社 代表取締役）

熊本市新町で工務店の三代目として、木造増改築工事を主とする建設会社を経営。校区の団体や消防団員、PTA会長も務める。まちづくり活動への参加をきっかけに地域の歴史や状況を知り、建築の専門技術者として地区市民と一緒に新町・古町町屋研究会を主宰し、町屋の保存や利活用に精力的に活動している。



吉村謙太郎（よしむら けんたろう 瑞鷹株式会社 取締役副社長）

1972年生まれ。熊本市川尻の酒造場「瑞鷹」の蔵元。大学卒業後、ビル管理の仕事を経て家業の酒蔵に戻り、併せて酒類総合研究所に入所し酒造りを学ぶ。現在は地元の酒米造りを積極的に行いながら郷土に根ざした地酒造りに取り組んでいる。



竹原 明理（たけはら あかり 熊本市立熊本博物館 学芸員）

福岡県生。熊本博物館学芸員。専門は美術工芸。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。熊本博物館特別展『追憶の熊本一画家・甲斐青萍が描いた熊本城下の記憶ー』（2019年）などを担当。



早川祐三（はやかわ ゆうぞう 合名会社早川倉庫 役員）

2006年より、3代目として早川倉庫（1877年）を引き継ぎ運営中。早川倉庫は、大正期は履物問屋業、戦後の倉庫業を経て、現在はマルシェや展示など、多目的イベントホールとしてコンバージョンされている。2017年からは、町屋を再生したゲストハウスを運営中。自ら直せるところは、DIYで改修。新町・古町町屋研究会のメンバー。